

速乾型エポキシ変性カチオン系プライマー

フローン水性プライマーF

特 長

1 時間で硬化します(2 3℃)。また、1 液硬化タイプなので、2 液タイプのような面倒な硬化剤との混合作業が必要ありません。

用 途

フローンアクアファーストの下塗り材に最適。  
コンクリート、モルタル面用プライマー

上塗可能製品

| 床材           |        |
|--------------|--------|
| フローンアクアファースト | 水性フローア |

容量・荷姿・使用量・塗装面積

| 容量・荷姿       | 使用量                        | 塗装面積                           |
|-------------|----------------------------|--------------------------------|
| 15kg（石油缶入り） | 0.12～0.15kg/m <sup>2</sup> | 1 回塗り 100～125m <sup>2</sup> ／缶 |
| 4kg（ポリ缶入り）  |                            | 1 回塗り 26～33 m <sup>2</sup> ／缶  |

乾燥時間

| 上塗可能時間   |        |
|----------|--------|
| 3 5℃以上   | 30 分以上 |
| 2 0～3 5℃ | 50 分以上 |
| 1 0～2 0℃ | 2 時間以上 |
| 5 ～1 0℃  | 3 時間以上 |



標準仕様

| 工程 | 材料名                 | 使用量<br>kg/m <sup>2</sup> | 上塗可能時間<br>23℃ | 備 考                                             |
|----|---------------------|--------------------------|---------------|-------------------------------------------------|
| 1  | 素地調整                | ————                     | ————          |                                                 |
| 2  | フローン水性プライマーF        | 0. 1 5                   | 50 分          | 原液のまま、中毛ローラー、ハケにて塗布。<br>吸い込みの激しい場合は2回以上塗布して下さい。 |
| 3  | フローンアクアファースト<br>水道水 | 0. 1 5<br>0. 0 0 7 5     | 40 分          | フローンアクアファーストを、水道水にて5%希釈し、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。  |
| 4  | フローンアクアファースト<br>水道水 | 0. 1 5<br>0. 0 0 7 5     | ————          | フローンアクアファーストを、水道水にて5%希釈し、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。  |

注意事項

- よくかき混ぜて均一な状態にしてから使用して下さい。また、無希釈タイプですので希釈はしないでください。
- ゴミ、ホコリ等の異物は、施工前に清掃を行い、完全に除去して下さい。
- コンクリート、モルタルの養生不足は水分の影響により、フクレ、硬化不良をまた、アルカリの影響により、密着不良をまねく場合があります。従って、含水率が高周波水分計ケット社製 HI-500・HI-520 で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、pH9.5 以下になってから施工して下さい。
- 気温及び躯体温度 5℃以下、湿度 80%以上あるいは結露している環境下での施工は密着不良、ひび割れなどの原因となりますので施工を避けて下さい。
- 塗装後翌日まで降雨、降雪等の心配がある場合は、施工を避けて下さい。
- 冬期の施工は夜露、結露の発生が考えられますので、ウエス等で拭き取り、乾燥させてから塗装して下さい。
- 夜露、高湿度等で被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、乾燥させてから塗装して下さい。
- 上塗りに溶剤系塗料は使用できません。
- カチオン系塗料ですので他の塗料との混合はできません。
- 中毛ローラー、ハケなどの施工具は、他の塗料との共用を避け、使用後は十分に水洗いを行って下さい。
- 他の容器に移す場合はプラスチック容器を使用して下さい。金属容器を使用すると錆が発生する可能性があります。
- 金属部への塗装は行わないで下さい。また、非塗面のまわりに金属部材がある場合、塗料が付着しないように養生を行って下さい。
- 直接皮膚に触れないように注意して下さい。もし触れた場合、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 材料は、冷暗所に保管して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
- 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願い致します。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは産業廃棄物として処理してください。

※アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。  
(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)  
容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。  
詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

●お問い合わせは.....



東日本塗料株式会社

本 社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切 3 丁目 25 番 16 号  
埼玉 工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎 1 丁目 13 番地  
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野 1 丁目 4 番 20 号  
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸 3 丁目 7 番 9 号  
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島 128 番地-1  
北海道出張所/

TEL. 03 (3693) 0851 (代) FAX. 03 (3697) 2306  
TEL. 0480 (65) 1515 (代) FAX. 0480 (65) 1518  
TEL. 022 (291) 7372 (代) FAX. 022 (291) 7320  
TEL. 025 (273) 5749 (代) FAX. 025 (274) 6730  
TEL. 054 (238) 8061 (代) FAX. 054 (238) 8063  
TEL. 090 (8586) 2214 FAX. 03 (3697) 2306

\*製品改良のため予告なく、仕様、性能を変更する場合がございます。